

支援ネット会員各位

**月例情報市場等 報告**

201310

9月の月例情報市場のご報告をいたします。よろしくお願いいたします。

■活動報告 ■各種募集情報 ■後記

**■活動報告**

**□情報市場を開催しました**

平成 25 年 9 月 18 日（水）、月例情報市場が行われました。

今回の参加者

- ・被災地オテガミプロジェクト推進チーム 久保田さん
- ・支援ネット 込山、仲條



被災地オテガミプロジェクト推進チーム 久保田

被災地オテガミプロジェクトは、ついに 500 通を突破しました。今日も 20 数通来ていたので、累計で 540 通くらいになります。

チームとしてのお礼状など出すので、手数料もかかりますが、それから非常に増えてきました。1 週間目くらいにお礼状が届くようにしています。お礼状を思いついたのが 1 月中旬で、100 通目くらいからはじめました。

支援ネット 手書きですか？

久保田 全部手書きではありませんが、全て添え書きを万年筆で書いています。

オテガミは、切り絵や絵手紙など、創作のものも送られてきます。長野に絵手紙の先生が

何人かいらっしゃって、個別にお願いをして、生徒さんに声掛けしていただいています。今は、長野県シニア大学(※)の県下 10 学部で、アメーバみたいに活動が広がっています。特に多くいただいたのが、大北学部と佐久学部です。

※参考URL <http://www.nicesenior.or.jp/daigaku/index.html>

現実に仮設の生活は、日々悲惨さを増しています。4 畳半二間に 2 年半。催し物以外は閉じこもっていると言います。お茶のみサロンなどに出てくる人は元気がある人たちだと思えます。私の親しくしている人のいる仮設は半分も出ていきません。受け取るとすぐ自分の部屋に入るんです。

何もかも失ってしまい、将来どうするか、先がよく見えない状況。そういう中でのストレスがあると思います。お金の問題ではないのです。

そういうとき、何が有効なのか考えると、本当は、傾聴…語り部がいいのかもしれませんが、**手紙は、相手の都合によって何度も読むことができるため、有効だ**と思います。

**言葉は大きな力を持っています。**

現地の現状はそういうことですが、世間では風化が進んでいるのではないのでしょうか。

この活動は、むこうの社協も認めてくれて、期待されています。

長野県だけでなく、もっと広がればいいと思っているので、日本絵手紙協会の方などと連携がとれば、全国的な運動になるのではないかと考えて動いています。

それから、別の活動のことですが。3 年半毎朝、権堂のごみを拾っています。

日の出とともに 1.5 時間歩いています。

支援ネット 活動はお一人ですか？ **仲間探し・後継者探しは、多くの市民活動・ボランティア活動団体の悩み**です。同年代の仲間を増やしたいと思いませんか？

久保田 オテガミプロジェクトのほうも新しいメンバーを補いましたが、**まずは人数を増やすことより、活動の歯車が止まらないように、やろうと思った自分がちゃんと続けたい**と思っているんですよ。

それに僕は、まちをきれいにしよう、なんて思っていないんです。権堂という町の生活史を記録したい。というのも、**僕はよそものなんです**。横浜から越してきて。スーツ着て歩きタバコなんて、考えられなかったわけです。拳句の果て、タバコの吸殻がポイ捨てされている。ゴミを数えていると、タバコの値上げとか曜日とかで、歴然と違いが出てきます。

人の不始末の数の記録…その結果、町がきれいになればそれはそれでいい。

そういう中で、最近、毎朝ウォーキングしている人があいさつしてくれるようになりました。ラーメン屋の親父と東北のサンマの話をしていたら、オテガミプロジェクトの話になったり…。

支援ネット そうやって、広がりを持ってきているんですね。ありがとうございました。また報告をお願いします。

・その他

★9月29日(日) 第32回 ふれあいまつり 出展しました。

長野市ボランティアセンターさん・山楽会さんなどと同じテントにて、パネル展示をしました。お立ち寄りいただいた皆様、ありがとうございました。



## ■各種募集情報

### ★イベント情報

・平成25年度 ボランティア・市民活動コーディネーター養成講座⑦

気づくための発想～アイデア出しの方法を学ぶ～

主催：社会福祉法人 長野市社会福祉協議会・長野市ボランティアセンター  
多様な人がその人らしく暮らすことができる地域をつくるには多様な視点が欠かせません。ひとつの物事もやわらかな発想で多面的に眺めてみれば、いろいろなことに気づくはず。ひとつのアイデアもいろいろな視点を組み込めば効果も倍増！「アイデアが出ない」「マンネリ気味で…」とお悩みのあなた！ 気づくための発想を豊かにし、アイデア出しの方法を学びましょう。

◎ 日時：10月9日(水) 13:00～16:30

◎ 会場：長野市ふれあい福祉センター 5Fホール（長野市大字鶴賀緑町 1714-5）

◎ 参加費：500円

◎ 申込み：10月7日(月)までに下記までお申込みください

◎ お申込み・お問い合わせ 長野市ボランティアセンター TEL：026-227-3707

【講師】

小林 博明 さん（長野県社会福祉協議会）支援ネット理事

長野市社会福祉協議会在職中、長野市ボランティアセンター立ち上げに関わり、以来、その時々地域の課題をやわらかな発想で見つめ、さまざまなボランティアグループを立ち上げ、支援する。また、「ボランティアかわらばん」の発行や「サマーチャレンジボランティア」「まちの縁側」など、ニーズに気づきニーズを生みだすさまざまな事業を推進。現在は長野県社協で、市町村社協の支援に取り組む。

### ・第3回福祉教育・ボランティア学習研究会

#### 地域・学校×施設=∞（無限大）

地域や学校と施設がかかわると何がおきるのだろうか。

施設には施設の、地域には地域の、学校には学校の思いがあって

それが合わさって化学反応が起きる、その先にあるのは・・・？

「だれもが幸せに暮らしていける地域」。そんな地域をつくっているのは誰なんだろう？

住民自治協議会？、学校？、施設？ 多様な人々が「**かかわる**」ことの大切さを、施設との交流という角度から一緒に考えてみませんか？

◎ 日 時：10月25日（金）18:30～20:30

◎ 会 場：長野市ふれあい福祉センター 4階会議室

◎ 主催・お問い合わせ 長野市ボランティアセンター TEL：026-227-3707

【ゲスト】 保科小学校 篠原賢朗先生、アトリエCOCO 綿貫好子さん 他

### ・今月のかわらばん情報

<http://www.vnetnagano.or.jp/kawaraban/index.htm>

### ★物品募集情報

物品寄付のお願いがあります。移転・大掃除等で不要になった物がありましたら、お知らせください。

●提供希望：折りたたみ式の会議用机 6脚

（6脚まとめてでなくても、1脚でもあればお願いしたい）

：折りたたみ式のいす 適宜

：自転車（大人用）2台

：家財道具 テレビ・自転車・レンジ・こたつ・IH調理器・照明器具（6畳用）

●寄付します

：大皿（青系・直径45センチ）

### ■後記

・今回はお一人だけの参加でしたが、複数の地域活動を実践する中で感じることなどをお聞きでき、有意義だったと思います。まちなかを歩いていて、思いがけない瞬間に、まったく違う活動がつながっていく…そういうのって、自分の地域で活動していることの『醍醐味』ですよ。いつも多面的に発信し続けることが大切なんだなあ、「Think global, Act local」あらためてこの言葉の意味を考えたいなあ…、と思いました。（な）

以上